

道 東 自 動 車 道  
ト マ ム I C 工 事

割 掛 対 象 表 参 考 内 訳 書

割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、工事の実施にあたっては、この主旨を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段において、受注者の責任において定め、施工するものである。

なお、割掛対象表参考内訳書の内容について質問することはできない。

令和6年8月

東日本高速道路株式会社 北海道支社  
帯広工事事務所

## 割掛対象表参考内訳書 1 / 12

### 【 共 通 仮 設 費 】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工 事 用 機 械 運 搬 費 （ 舗 装 工 ）	舗装工で使用する重建設機械の輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 160km（片道）】 アスファルトフィニッシャー（クローラ型 3.0～12.0m） ：1 台－5 往復	—
工事用機械分解組立費 （ 土 工 ）	土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 160km（片道）】 リッパブルドーザ 32t：1 台－1 往復 ブルドーザ 32t：1 台－4 往復 湿地ブルドーザ 20t：2 台－2 往復 バックホウ 1.0 m <sup>3</sup> 級：1 台－4 往復	—
工事用機械分解組立費 （ 構 造 物 掘 削 ）	構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 160km（片道）】 湿地ブルドーザ 20t：2 台－1 往復、1 台－2 往復 クラムシェル 0.6m <sup>3</sup> ：1 台－1 往復 クローラクレーン 50t～55t 級：2 台－1 往復、1 台－6 往復 ○工事区内移動 クローラクレーン 50t～55t 級：2 台－1 回、1 台－3 回	—
工事用機械分解組立費 （ 自 工 区 外 盛 土 場 ）	自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 170km（片道）】 湿地ブルドーザ 20t：1 台－3 往復	—
工事用機械分解組立費 （ 地 盤 改 良 工 ）	中層混合処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 160km（片道）】 バックホウ山積 1.4 m <sup>3</sup> 級（ベースマシン）：1 台－1 往復 バックホウ山積 1.9 m <sup>3</sup> 級（ベースマシン）：1 台－1 往復 ○工事区内移動 バックホウ山積 1.4 m <sup>3</sup> 級（ベースマシン）：1 台－3 回	—
工事用機械分解組立費 （ 函 渠 工 ）	函渠工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 160km（片道）】 トラッククレーン 160t 級：1 台－1 往復 トラッククレーン 100t 級：1 台－2 往復	—

## 割掛対象表参考内訳書 2 / 12

工事用機械分解組立費 (橋梁下部工)	橋梁下部工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	<p>○基地からの運搬【運搬距離：約 160km (片道)】</p> <p>全周回転式掘削機(径 1.2m 据置式)： 1 台－1 往復</p> <p>全周回転式掘削機(径 1.5m 据置式)： 2 台－2 往復</p> <p>全周回転式掘削機(径 2.0m 据置式)： 1 台－1 往復</p> <p>クローラクレーン 60t～65t： 2 台－1 往復</p> <p>○工事区内移動</p> <p>全周回転式掘削機(径 1.5m 据置式)： 1 台－2 回</p> <p>クローラクレーン 60t～65t： 1 台－2 回、1 台－1 回</p>	—
仮設材等運搬費 (C－Box)	STA. 1010+52 付近暗渠工の構造物掘削工で使用する仮設材(鋼矢板)の運搬に要する費用をいう。	<p>○構造物掘削 特殊部 A (C-Box) で使用する仮設材の運搬費</p> <p>・基地からの運搬【運搬距離：約 160km (片道)】</p> <p>鋼矢板Ⅲ型 10.5m×14 枚：8.82t</p> <p>10.5m×13 枚：8.19t</p> <p>小計：17.01t</p>	○
仮設材等運搬費 (P C－Box)	STA. 1025+47 付近暗渠工の構造物掘削工で使用する仮設材(H型鋼、鋼矢板等)の運搬に要する費用をいう。	<p>○構造物掘削 特殊部 B (P C－Box) で使用する仮設材の運搬費</p> <p>・基地からの運搬【運搬距離：約 160km (片道)】</p> <p>鋼矢板Ⅲ型 12.0m×32 枚：23.04t</p> <p>11.5m×33 枚：22.77t</p> <p>11.0m×2 枚：1.32t</p> <p>10.5m×2 枚：1.26t</p> <p>10.0m×5 枚：3.00t</p> <p>9.5m×5 枚：2.85t</p> <p>8.5m×4 枚：2.04t</p> <p>8.0m×4 枚：1.92t</p> <p>腹起し(H-300)：8.32t</p> <p>ブラケット(L-90)：0.99t</p> <p>小計：67.51t</p>	○

## 割掛対象表参考内訳書 3 / 12

<p>仮設材等運搬費 (特殊部C1)</p>	<p>十三線の沢川橋の構造物掘削工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。</p>	<p>○構造物掘削 特殊部C1－1（十三線の沢川橋A1橋台）で使用する仮設材の運搬費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地からの運搬【運搬距離：約160km（片道）】</li> <li>鋼矢板V型 17.0m×15枚：26.78t</li> <li>16.5m×10枚：17.33t</li> <li>13.0m×29枚：39.59t</li> <li>12.5m×2枚：2.63t</li> <li>12.0m×3枚：3.78t</li> <li>11.5m×6枚：7.25t</li> <li>11.0m×6枚：6.93t</li> <li>10.5m×2枚：2.21t</li> <li>10.0m×2枚：2.10t</li> <li>9.5m×2枚：2.00t</li> <li>9.0m×1枚：0.95t</li> <li>8.5m×2枚：1.79t</li> <li>8.0m×1枚：0.84t</li> <li>腹起し(H-300)：20.29t</li> <li>ブラケット(L-100)：2.65t</li> <li>小計：137.12t</li> </ul> <p>○構造物掘削 特殊部C1－2（十三線の沢川橋P1橋脚）で使用する仮設材の運搬費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地からの運搬【運搬距離：約160km（片道）】</li> <li>鋼矢板Ⅲ型 10.0m×16枚：9.60t</li> <li>9.5m×12枚：6.84t</li> <li>9.0m×8枚：4.32t</li> <li>8.5m×7枚：3.57t</li> <li>8.0m×57枚：27.36t</li> <li>腹起し(H-350)：1.86t</li> <li>腹起し(H-500)：11.10t</li> <li>火打ち、隅ピース：4.93t</li> <li>小計：69.58t</li> </ul>	<p>○</p>
----------------------------	--	--	----------

## 割掛対象表参考内訳書 4 / 12

		<p>○構造物掘削 特殊部C 1－3（十三線の沢川橋P 2 橋脚）で使用する仮設材の運搬費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地からの運搬【運搬距離：約 160km（片道）】</li> <li>鋼矢板Ⅳ型 10.0m×100 枚：76.10t</li> <li>腹起し(H-500)：10.99t</li> <li>火打ち、隅ピース：3.32t</li> <li>小計：90.41t</li> </ul> <p>○構造物掘削 特殊部C 1－4（十三線の沢川橋A 2 橋台）で使用する仮設材の運搬費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地からの運搬【運搬距離：約 160km（片道）】</li> <li>鋼矢板Ⅴ型 17.5m×21 枚：38.59t</li> <li>腹起し(H-300)：3.12t</li> <li>ブラケット(L-100)：0.57t</li> <li>小計：42.28t</li> </ul>	
仮 設 材 等 運 搬 費 （ 特 殊 部 C 2 ）	久我の沢川橋の構造物掘削工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	<p>○構造物掘削 特殊部C 2－1（久我の沢川橋A 1 橋台）で使用する仮設材の運搬費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地からの運搬【運搬距離：約 160km（片道）】</li> <li>鋼矢板Ⅲ型 12.0m×22 枚：15.84t</li> <li>11.0m×11 枚：7.26t</li> <li>腹起し(H-300)：3.14t</li> <li>ブラケット(L-130)：0.53t</li> <li>小計：26.77t</li> </ul> <p>○構造物掘削 特殊部C 2－2（久我の沢川橋P 1 橋脚）で使用する仮設材の運搬費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地からの運搬【運搬距離：約 160km（片道）】</li> <li>鋼矢板Ⅲ型 9.0m×36 枚：19.44t</li> <li>8.5m×34 枚：17.34t</li> <li>8.0m× 2 枚：0.96t</li> <li>7.5m×72 枚：32.40t</li> <li>腹起し(H-500)：23.25t</li> <li>火打ち、隅ピース：5.31t</li> <li>小計：98.70t</li> </ul>	○

## 割掛対象表参考内訳書 5 / 12

		<p>○構造物掘削 特殊部C 2－3（久我の沢川橋P 2 橋脚）で使用する仮設材の運搬費</p> <p>・基地からの運搬【運搬距離：約 160km（片道）】</p> <p>鋼矢板Ⅲ型 13.5m×2 枚：1.62t  13.0m×7 枚：5.46t  12.5m×9 枚：6.75t  12.0m×8 枚：5.76t  11.5m×8 枚：5.52t  11.0m×11 枚：7.26t  10.5m×14 枚：8.82t  10.0m×6 枚：3.60t  9.5m×12 枚：6.84t  9.0m×51 枚：27.54t</p> <p>腹起し(H-400)：1.07t  腹起し(H-500)：20.85t  火打ち、隅ピース：5.40t  小計：106.49t</p> <p>○構造物掘削 特殊部C 2－4（久我の沢川橋A 2 橋台）で使用する仮設材の運搬費</p> <p>・基地からの運搬【運搬距離：約 160km（片道）】</p> <p>鋼矢板Ⅳ型 22.0m×57 枚：95.43t  11.5m×11 枚：9.63t</p> <p>腹起し(H-300)：10.94t  ブラケット(L-100)：0.89t  小計：116.89t</p>	
--	--	---	--

## 割掛対象表参考内訳書 6 / 12

仮設材等運搬費 (特殊部D2)	上トマム橋の構造物掘削工で使用する仮設材（H型钢、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	<p>○構造物掘削 特殊部D2-1（上トマム橋A1橋台）で使用する仮設材の運搬費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地からの運搬【運搬距離：約160km（片道）】</li> <li>鋼矢板Ⅲ型 9.0m×134枚：72.36t</li> <li>腹起し(H-400)：9.60t</li> <li>火打ち、隅ピース：3.52t</li> <li>小計：85.48t</li> </ul> <p>○構造物掘削 特殊部D2-2（上トマム橋A2橋台）で使用する仮設材の運搬費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地からの運搬【運搬距離：約160km（片道）】</li> <li>鋼矢板Ⅲ型 9.5m×136枚：77.52t</li> <li>腹起し(H-400)：9.80t</li> <li>火打ち、隅ピース：3.52t</li> <li>小計：90.84t</li> </ul>	○
仮設材等運搬費 (特殊部D3)	両国川第二橋の構造物掘削工で使用する仮設材（H型钢、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	<p>○構造物掘削 特殊部D3-1（両国川第二橋A1橋台）で使用する仮設材の運搬費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地からの運搬【運搬距離：約160km（片道）】</li> <li>鋼矢板Ⅲ型 9.0m×98枚：52.92t</li> <li>腹起し(H-400)：6.80t</li> <li>火打ち、隅ピース：2.42t</li> <li>小計：62.14t</li> </ul> <p>○構造物掘削 特殊部D3-2（両国川第二橋A2橋台）で使用する仮設材の運搬費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地からの運搬【運搬距離：約160km（片道）】</li> <li>鋼矢板Ⅲ型 10.0m×98枚：58.80t</li> <li>腹起し(H-400)：6.80t</li> <li>火打ち、隅ピース：2.62t</li> <li>小計：68.22t</li> </ul>	○
土質等試験費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	<p>試験項目： 「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」</p> <p>試験回数：1回</p>	—

## 割掛対象表参考内訳書 7 / 12

地 質 調 査 等 費	平板載荷試験に要する費用をいう。	・ 橋梁下部工：STA. 978+32.95 1箇所 STA. 978+74.0 1箇所 ・ 函渠工：STA. 1010+52.751 1箇所	—
アンカー工の多サイクル確認試験費	のり面アンカーの多サイクル確認試験に要する費用をいう。	多サイクル確認試験 36箇所	—
はく離抵抗試験費	舗装工事における粗骨材及びアスファルト舗装混合物のはく離抵抗性の確認に必要な水浸ホイールトラッキング試験に要する費用をいう。	試験数 計8枚 高機能舗装Ⅱ型2枚 レベリング層用アスファルト混合物2枚 基層用遮水性アスファルト混合物2枚 加熱アスファルト安定処理路盤用混合物2枚	—
非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	・ C－B x 上向：3箇所、側面：5箇所 ・ P C a－B x 上向：10箇所、側面：10箇所 ・ 十三線の沢川橋下部工 側面：60箇所 ・ 久我の沢川橋下部工 側面：56箇所 ・ 両国川第一橋下部工 側面：28箇所 ・ 上トママ橋下部工 側面：24箇所 ・ 両国川第二橋下部工 側面：20箇所 ・ 両国川第一橋上部工 上向：4箇所、側面：20箇所 下向：4箇所 ・ 上トママ橋上部工 上向：4箇所、側面：24箇所 下向：4箇所 ・ 両国川第二橋上部工 上向：3箇所、側面：16箇所 下向：3箇所	—
配 合 試 験 費	地盤改良を行うにあたり、固化材の添加量を決定するための室内配合試験に要する費用をいう。	L型擁壁付近：7回	—

### 【準備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事用道路維持補修費	工事用道路の維持補修（散水）に要する費用をいう。	散水車 5,500L 期間：約 25.0 ヶ月 ①村道 ②道道夕張新得線 ③村道	—



## 割掛対象表参考内訳書 8 / 12

		④十三線の沢川橋工事用道路 ⑤鵠川工事用道路 ⑥村道 ⑦林道 ⑧道道夕張新得線 ⑬両国川第二橋工事用道路 ⑭村道上トマム団体線 ⑮道道夕張新得線 ⑯道道落合停車場線 散水車 5,500L 期間：約 20.0 ヶ月 ⑨両国川工事用道路 ⑩工事用進入路 A ⑫工事用進入路 B ※上記工事用道路の番号は、特記仕様書「15. 工事用道路に関する事項」に示すとおりとする。	
工事車両泥落とし装置費	泥落とし装置に要する費用をいう。	<b>【鵠川工事用道路 出入口】</b> 鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型） 1 箇所 設置撤去：4 回 設置期間：25.0 ヶ月 （冬期休止期間基地へ返却） <b>【村道（鵠川工事用道路対面） 出入口】</b> 鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型） 1 箇所 設置撤去：4 回 設置期間：25.0 ヶ月 （冬期休止期間基地へ返却） <b>【両国川工事用道路 出入口】</b> 鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型） 1 箇所 設置撤去：4 回 設置期間：25.0 ヶ月 （冬期休止期間基地へ返却） <b>【工事用進入路 A 出入口】</b> 鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型） 1 箇所 設置撤去：4 回 設置期間：20.0 ヶ月 （冬期休止期間基地へ返却）	—

## 割掛対象表参考内訳書 9 / 12

### 【仮設備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
足場工事費	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	<b>【手すり先行くさび緊結式足場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・擁壁工 7,563.4 空<sup>m</sup></li> <li>・C－B x 320.0 空<sup>m</sup></li> <li>・十三線の沢川橋下部工 2,475.2 空<sup>m</sup></li> <li>・久我の沢川橋下部工 2,202.1 空<sup>m</sup></li> <li>・両国川第一橋下部工 1,278.5 空<sup>m</sup></li> <li>・上トマム橋下部工 1,190.2 空<sup>m</sup></li> <li>・両国川第二橋下部工 1,042.8 空<sup>m</sup></li> </ul>	—
足場工事費 （グラウンドアンカー工、 補強土壁工）	グラウンドアンカー工及び補強土壁工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	<b>【アンカー工用足場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンドアンカー工 足場工（W=5m）：804.9 空<sup>m</sup></li> </ul> <b>【補強土壁工用足場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補強土壁工 足場工（ブラケット型）：延長 72.9m 巾 600mm</li> </ul>	—
支保工事費	コンクリート構造物の施工時、所定の形状に仕上げるための仮設の支保構造物に要する費用をいう。	<b>【くさび結合支保工】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C－B x：載荷荷重 1.4t/m<sup>2</sup> 534.4 空<sup>m</sup></li> <li>・十三線の沢川橋下部工：載荷荷重 8.0t/m<sup>2</sup> 556.7 空<sup>m</sup></li> <li>・久我の沢川橋下部工：載荷荷重 6.7t/m<sup>2</sup> 401.0 空<sup>m</sup></li> <li>・両国川第一橋上部工：載荷荷重 3.4t/m<sup>2</sup> 517.1 空<sup>m</sup></li> <li>・上トマム橋上部工：載荷荷重 3.6t/m<sup>2</sup> 1,601.3 空<sup>m</sup></li> <li>・両国川第二橋上部工：載荷荷重 3.2t/m<sup>2</sup> 424.8 空<sup>m</sup></li> </ul> <b>【特殊支保工】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両国川第一橋上部工：トラス桁(KD) 鋼材重量 81.1t</li> <li>・上トマム橋上部工：H鋼 鋼材重量 157.8t</li> <li>・両国川第二橋上部工：トラス桁(KD) 鋼材重量 30.4t</li> </ul> 上記の特殊支保工のリース期間は、各橋とも 90 日とする。	○

## 割掛対象表参考内訳書 10 / 12

		・ STA. 1025+47.040 プレキャストボックスカルバート工 ： H 鋼 鋼材重量 7.6t リース期間 180 日	
P C 工事用仮設電力 設 備 費	橋梁上部工工事に必要となる発動発電機設備電力 等の全ての仮設電力設備に要する費用をいう。	・ 両国川第一橋上部工、上トマム橋上部工、 両国川第二橋上部工 一式	—
P C 鋼材機械器具費	P C 鋼材引張の作業に使用する機械器具に要する費用を いう。	・ 両国川第一橋：9,683kg ・ 上トマム橋：21,685kg ・ 両国川第二橋：6,564kg	○
シ ー ト 張 防 護 工 費	交差する道路の上空の施工に必要なシート張防護工に要 する費用をいう。	シート張防護：355.3 m <sup>2</sup> ・ 上トマム橋(一般道交差部) 期間：3.0 ケ月	—

### 【 雑 工 事 費 】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面
切 土 部 施 工 基 面 の 整 形 費	共通仕様書 2-6-5 (6) の規定を満足するよう、上 部路床面の不陸整正に要する費用をいう。	切土部施工基面の整形 (硬岩)：2,304.0 m <sup>2</sup>	—
の り 面 仕 上 げ 費	共通仕様書 2-6-5 (8) 及び 2-7-5 (6) に規 定する作業に要する費用をいう。	切土部のり面仕上げ (土砂)：11,228.7 m <sup>2</sup> 切土部のり面仕上げ (軟岩)：5,153.6 m <sup>2</sup> 切土部のり面仕上げ (硬岩)：1,405.6 m <sup>2</sup> 盛土部のり面仕上げ (1:1.8)：70,370.6 m <sup>2</sup>	—
河 川 ・ 水 路 の 締 切 、 迂 回 費	工事の施工に伴って、支障となる河川を締切り、迂回す る仮設物に要する費用をいう。	・ 十三線の沢川橋 高耐圧ポリエチレン管 φ1200：50.0m 耐候性大型土のう：105 個 ・ 久我の沢川橋 高耐圧ポリエチレン管 φ1200：25.0m 耐候性大型土のう：20 個 土のう：56 個 ・ 両国川第一橋 高密度ポリエチレン管 φ1000：82.6m	○

## 割掛対象表参考内訳書 11 / 12

		耐候性大型土のう：22 個 土のう：120 個 ※上記材料は撤去後、処分とする。	
防 じ ん ネ ッ ト 費	砂じん、飛石等の防止の目的で工事区域と家屋、果樹園等の境に設置するネットに要する費用をいう。	STA. 971+80 付近 設置延長：L=291.0m	—
構 造 物 水 抜 穴 費	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	V P (φ 50) : L=231.9m V P (φ 75) : L=86.6m	○
目 地 材 費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	【目地板 (t=1cm)】 527.9 m <sup>2</sup> 【目地板 (t=2cm)】 115.9 m <sup>2</sup> 【目地板 (t=3cm)】 36.4 m <sup>2</sup>	—
く い 頭 処 理 費	場所打ち杭のくい頭はつり及び発生材の処分に要する費用をいう。	・十三線の沢川橋 φ 1500 : 18 本 ・久我の沢川橋 φ 1200 : 6 本、φ 1500 : 24 本 ・両国川第一橋 φ 2000 : 12 本 ・上トマム橋 φ 1500 : 20 本 ・両国川第二橋 φ 1500 : 12 本	○
橋 面 養 生 費	床版コンクリート打設後のコンクリートの養生に要する費用をいう。	・両国川第一橋 : 281.6 m <sup>2</sup> ・上トマム橋 : 549.3 m <sup>2</sup> ・両国川第二橋 : 208.4 m <sup>2</sup>	—
壁 高 欄 目 地 板 費	壁高欄の縁切りを行うために設ける目地板に要する費用をいう。	・両国川第一橋 : 0.8 m <sup>2</sup> ・上トマム橋 : 0.8 m <sup>2</sup> ・両国川第二橋 : 0.8 m <sup>2</sup>	—
支 承 ア ン カ ー ボ ル ト 箱 抜 費	橋梁下部工工事において、上部工施工時の支承、アンカーバー、落橋防止装置、トランペットシースを設置するための、箱抜に要する費用をいう。	・十三線の沢川橋 φ 150 : 36.4m、φ 175 : 7.2m、φ 215 : 7.2m ・久我の沢川橋 φ 175 : 65.2m、φ 215 : 4.5m	—
防 護 柵 ポ ス ト 孔 費	函渠工及び補強土壁工に設置する防護柵用ポスト孔の費用をいう。(補強鉄筋含まず)。	STA. 1010+52.751 C-Bx : 1.6m STA. 1014 付近 補強土壁工 : 13.2m	○

## 割掛対象表参考内訳書 12 / 12

仮 囲 い 費	工事箇所と高速道路本線との境に設置する仮囲いに要する費用をいう。	高さ：H=3.0m 設置・撤去延長：Aタイプ-L=866.5m ※使用材料は撤去後、処分とする。	○
土 砂 防 止 柵 費 (盛土のり面用)	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長：L=2,429.1m	○
有 料 道 路 料 金 費	材料、機械、設備等の搬出に必要となる高速道路通行料金の費用をいう（消費税相当額を除く）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 占冠 IC～トマム IC 間   中型車：23 台</li> <li>・ トマム IC～十勝清水 IC 間   中型車：31 台   大型車：3,298 台   特大車：75 台</li> </ul>	—